

基盤教育院 准教授

あらきのぶ
荒木志伸

より良く、より強く生きるための人間力を育成する。

山形大学基盤教育院

地域の歴史遺産を発掘する

考古学の力で、地域を元気に

最近、パワースポットが流行しています。恋愛成就…合格祈願…親や子供の健康を祈る人々…昔の人も今の人も、幸せに生きたいと思うのは一緒です。こうした願いをかなえるため、多くの人が訪れる「霊場」が、山形にはたくさんあります。山寺立石寺や出羽三山、慈恩寺などは、全国的に有名で歴史的にも重要な場所ですが、本格的な調査がなされていませんでした。約10年前から授業の一環で、山寺立石寺で学生さんと一緒に調査を行っています。現地に行き、生の資料にドキドキしながら触れ、徐々に過去の人たちの想いが解明されていくワクワク感

は大学でしか味わえない醍醐味といえるでしょう。こうした活動と調査成果は新聞、テレビに取り上げてもらうことも多く、新たな歴史的発見が観光資源として旅行雑誌に掲載されるなど、全国からたくさんの人が山形に訪れるきっかけにもなっています。

野外調査で未知の体験を

考古学の現場は、誰も答えを知らない未知の空間です。教師も学生が、一緒に試行錯誤しながら考え調査していきますが、文字が解読できた時の感動や、調査を達成した後の打ち上げの楽しさは、一度味わうと病みつきになる（そうです）。ぜひ一緒に調査してみませんか。



山寺奥の院での実習風景



一般市民の方や全国から来る人を、現地に案内する機会も多い



他の教員と共同で、奥の細道マスター講座を開催



研究成果が取り入れられた旅行雑誌や観光パンフレット